



甲斐市脱炭素先行地域概要について

“隗（甲斐）より始めよ”

甲斐市 生活環境部 脱炭素社会推進室

〒400-0192
山梨県 甲斐市 篠原2610番地
TEL:055-267-6559
FAX:055-276-7214

「山梨県甲斐市」：『隗（甲斐）より始めよ』人と資源の循環モデル、ゼロカーボンロードで『めぐる』自然とワイナリー

1. はじめに（提案地方公共団体の社会的・地理的特性、地域の課題、2030年以降の将来ビジョン等）

サントリー登美の丘ワイナリーからの眺望

<社会的・地理的特徴> 山梨県の北西部に位置し、面積の約 4 割が森林。**豊かな自然**に恵まれている。

【気 候】山梨県は年間の日照時間が日本一長く、**甲斐市も同様に日照条件が良い。**

【農作物】甲斐市は気候条件から「果物」「野菜」の栽培に適し、**山梨県としても生産が盛んな「ぶどう」や市の特産品として「やほたいも」**が生産されている。

【交 通】中央自動車道の**双葉SIC**、JR中央本線の竜王駅等があり、**交通アクセスに恵まれた**地域。甲府駅等から複数の路線バスが運行。

【観 光】富士山等の雄大な景色が眺望できる**景観に恵まれた**地域。市内には**3つのワイナリー**や温泉、商業施設等の**観光スポットが点在。**

<地域課題>

【観光の活性化】豊かな自然を活かした観光の活性化が求められる。**都市圏からの観光客、中央道からの立寄り客**を増やすことがカギ。

【自然循環の促進】豊かな自然には**循環**が不可欠。地域の自然から生まれる**農作物やエネルギー**を循環させ、環境負荷を少なく次の恵みに繋げることが必要。

【太陽光発電の適切な管理】恵まれた日射量から2012年以降太陽光発電設備が急増。**森林伐採や山を切り開いての設置には景観保護など様々な意見。**

<2030年以降の将来ビジョン>

自然の恵みなど地域の特徴を活かした観光業の発展が、農業や地元産業を活性化させ、交流人口の増加を伴う循環型の地域発展を遂げる。

甲斐市が循環型の地域発展と脱炭素の取り組みのモデルとなり県内他地域に広げていく。

2-1. 脱炭素先行地域の概要

<対象とする地域の位置・範囲> 3ゾーン（7つのエリア）+ゼロカーボンロード
→7つの「**団子**」と「**串**」を脱炭素先行地域と設定

①

ゼロカーボンワイナリーゾーン

✓ 地域産業であるワイナリー及び交通拠点を有する地域

1 ~ 3

ワイナリーエリア

✓ 市内のワイナリーがそれぞれ立地する
✓ ①-2には、JR中央本線の塩崎駅や大型ショッピングモールも立地する

4

双葉SAエリア

✓ 道路交通の要衝であり玄関口である双葉SICが立地する

5

山梨交通敷島営業所エリア

✓ 二次交通の拠点である営業所が立地する

②

ゼロカーボン公園ゾーン

✓ ゼロカーボンパークとして再生する公園を有する本市の主要な観光・交流拠点として生まれ変わる地域
✓ JR中央本線の竜王駅が立地する

③

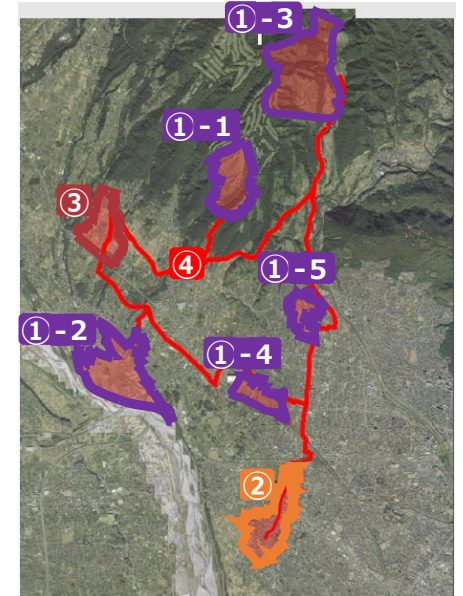
ゼロカーボンモデル事業取組ゾーン

✓ 温泉や農産物直売所等が立地する本市の主要な観光・交流拠点を有する地域
✓ 木質バイオマス発電所を建設中

④

ゼロカーボンロード

✓ ①～③の地域をめぐるルート



2-2. 脱炭素先行地域における取組

取組① 豊富な日射を活かし、住民が受け入れやすい太陽光発電設備の追加導入

- ✓ 公共施設、民間施設**屋根上へオンサイトPV**を設置（景観配慮）する。
- ✓ 民間施設等への**ソーラーカーポート**を設置（日よけ、雨よけによる住民理解）する。
- ✓ 一般住宅には**オンサイトPV・蓄電池**などを導入する。

取組② ゼロカーボン公園を活用した交流促進

- ✓ 篠原地区公園を**ゼロカーボン公園**として再生。園内に**ZEB施設**（子育て機能支援機能を有する学習施設）を整備し、交流人口の増加を図る。近接する市庁舎も**ZEB改修**。

取組③ ゼロカーボンロード沿いの街路灯のスマート化

- ✓ **ゼロカーボンロード**沿いの既存街路灯をLED化、新規設置は再エネ電気による自立運転可能な**スマート街路灯**を活用、**街路灯管理クラウドシステム**を導入し運用コスト低減を図る。

取組④ バイオマス発電所の建設、地域資源とエネルギーの循環

- ✓ **甲斐双葉バイオマス発電所を建設**。燃料は、間伐材・端材のほか、ワイナリーでのぶどう等の果樹栽培で大量に生じる**剪定枝**を活用する。
- ✓ 剪定枝等を土壤に炭素貯留しCO2排出を抑制する「**4パーミル・イニシアチブ**」の取組を推進。

取組⑤ 双葉SICから始まるゼロカーボンロードと観光活性化

- ✓ 観光スポットと連携した**ポイント施策や観光メニューの組成、展示イベントの開催など**、中央道からの観光客取り込みを強化。脱炭素を切り口にスポットをめぐる誘導を行う。

取組⑥ EVインフラ整備による観光の脱炭素化とEV普及推進

- ✓ 双葉SA、ワイナリーなどゼロカーボンロード沿いの複数地点に**急速充電器**を設置拡充。**コミュニティバスをEV化**し、休日は観光客向けに運行。**公用車をEV化**し、市民・観光者向けに開放。

取組⑦ バイオマス発電所の排熱を活用した熱供給

- ✓ バイオマス発電所の**排熱を回収**し、熱導管もしくはオフライン熱輸送により近接する温泉、給食センター等へ熱供給する。平常時の化石燃料消費抑制による脱炭素化、災害時の熱供給による食事・衛生環境の提供・地域住民や観光客の避難所として機能を発揮する。

取組⑧ 県と市が協調した再エネ発電設備（特に太陽光）の条例

- ✓ 太陽光発電等の**適切な保守・管理・廃棄ならびに地域裨益を目的とした条例**を制定。太陽光発電等の有効活用を通じた地方創生・カーボンニュートラル化実現と太陽光発電等導入における社会的課題の同時解決を図る。

3. 脱炭素の取組に伴う地域課題の解決、住民の暮らしの質の向上、地域経済循環への貢献等

<期待される効果・地域経済循環への貢献>

本取り組みは、脱炭素を切り口として、甲斐市の自然を活かし、ひとと資源の循環を活性化するチャレンジである。化学反応を起こし、**観光と地域経済の継続的な発展を実現するダイナミクス**を生み出す。

【観光】

観光活性化による**地域経済活性化と交流人口増加**。県内他地域のワイナリーにも、県が主導して他地域の観光活性化に繋げる。

EVインフラ整備はEV推進を支え、充電設備は観光客がスポットに立寄りきっかけを与える。

【資源循環】

地域資源の循環によりエネルギー流出抑制、域内資金循環の創出を図る。

【条例】

県条例を踏まえた太陽光発電の設置にかかる景観保全を継続するとともに、環境価値の循環を通じた地域裨益を目的とした市独自の条例を制定する。

<他地域への展開>

【モデル性（展開可能性のある類似地域）】

<バイオマス産業都市の選定地域等>（取組⑦）

<ワイン特区の選定地域>（取組③・⑤・⑥）

<剪定枝の活用が課題になっている地域>（取組④）

【波及効果・アナウンス効果・類似地域への展開に向けた具体策】

ゼロカーボンロードにより多拠点をつなぐ**「多拠点連結型」**モデルであり、**「拠点」を増やし、それらをつなぐ「ゼロカーボンロード」を延長し、「モビリティ」の取組や「移動サービス」を展開**することで、取組の拡大、波及・アナウンス効果が期待される。また**資源循環の取組もこの拡大プロセスに組み込む**。「隼（甲斐）より始めよ」をスローガンに、まずは本市がモデルケースとなって取り組み、近隣県内自治体や上記類似自治体などへ発信、本市の**「人と資源の循環モデル」と「ゼロカーボンロード」の取組を全国に示し、脱炭素ドミノ**を起こす。

